

新型コロナウイルス感染症対応地方創生  
臨時交付金（令和3年度分）

評価シート

【評価基準】

A：十分な効果を発揮した B：概ね効果を発揮した C：部分的に効果を発揮した  
D：効果を発揮したとはいえない

番号	項目	事業の効果		委員意見
①	感染防止対策の徹底	A	<p>新型コロナウイルス感染拡大に対し、マスクや消毒液等の感染対策用品の購入・配布、トイレや洗面台などの水回りを中心とした施設改修を迅速に行い、令和2年度に引き続き感染対策を徹底したことで、感染拡大の防止に寄与することができた。</p> <p>特に小中学校や幼稚園、児童クラブを中心に感染防止対策を行ったことで、子どもたちや保護者の安全・安心を確保することができた</p>	・特に意見なく事業の成果を認めていただいた。
②	医療機関の体制強化・検査促進	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度に引き続き、白河医師会の協力のもと、医師会登録医師が当番で発熱外来の診療を実施し、かかりつけ医の無い患者の受け皿として地域医療の崩壊を防ぎ、医療体制を維持することで住民の不安を解消することができた。</li> <li>・高齢者等に対し、ワクチン接種会場までのタクシー助成券を配布したことで、本格的に始まったワクチン接種を促進し、感染防止を図ることができた。</li> <li>・事業者に対しPCR検査キットを無償配布したことにより、感染の早期発見やクラスター発生の防止につながった。</li> </ul>	・特に意見なく事業の成果を認めていただいた。
③	市民・事業者への支援	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、経済的に打撃を受けているひとり親世帯等の生活困窮世帯に対し、臨時給付金の支給をすることで、生活支援につなげることができた。</li> <li>・コロナ禍での外食産業の低迷により米価が大幅に下落し、農業者の収入が悪化したため、原材料や農業収入保険料の補助を行うことで、生産者の営農継続と所得の安定を図ることができた。</li> </ul>	・特に意見なく事業の成果を認めていただいた。
④	地域経済の活性化	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛や行動制限、飲食店等への時短要請により、地域経済が停滞したことから、令和2年度に引き続き、第3弾・第4弾のクーポン事業を実施し、商店・飲食店への支援をするとともに、地域経済の回復に寄与することができた。</li> <li>・テレワークの広がり等を背景に地方への関心が高まったことを受け、本市への移住者支援を積極的に行ったことで、地域の活力向上につながった。</li> <li>・映画やTV番組、CM等の撮影を支援・誘致することで、コロナ禍で減少した観光客の回復に繋げることが出来た。</li> </ul>	<p>・クーポン事業については事業者から喜びの声が上がっている。他の地域では1回限りの支援となったところもあるが、令和2年度に引き続き、第3弾・第4弾と継続的に事業を実施したことで、地域経済の活性化につながったと評価できる。</p> <p>・経済については回復の見通しが立たないため、地域の活性化につながる助成等を今後も継続してほしい。</p>

番号	項目	事業の効果		委員意見
⑤	教育に対する支援	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小中学校に大型掲示装置（電子黒板）を設置したことで、新型コロナウイルス感染拡大に伴う学校の臨時休校や登校自粛時においてもリモートで学習が実施できるようになり、コロナ禍における学習機会の確保を図ることができた。</li> <li>・ICT支援員を配置し、教職員や生徒のサポートをしたことで、ICT教育の推進に寄与することができた。</li> <li>・タブレット端末で「れきしら」を閲覧できる環境を整えることで、接触の機会を減らすとともに、市の歴史を学ぶ機会の充実を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍を契機にICT教育が進み、進学した際や社会人となったときに役立つスキルであるため、非常に効果的であったと思う。</li> <li>・社会でDXの取組みが進む中、特に若い世代のICT教育はもっと力を入れて取り組む段階に来ている。交付金がなくなってもICT教育支援員の配置に配慮が必要。</li> </ul>
⑥	テレワーク・デジタル推進	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致関連に特化したホームページを作成し、本市に興味のある企業関係者にワンストップで企業誘致施策とサテライトオフィスの情報を発信したことで、サテライトオフィスの入居促進につながった。</li> <li>・ラクリエーションプラス内のワーキングスペースに顔認証システムを導入したことで、施設予約や入退出時の手続き、利用料の精算などすべてを非接触で行うことが可能となり、感染の予防と施設の利用促進につながった。</li> <li>・各公共施設へのインターネット環境（Wi-Fi）の整備やキャッシュレス決済の導入により、行政手続きのオンライン化や各種手数料の支払いの簡素化・非接触可を実現したことで、市民の利便性向上と感染防止につながった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に意見なく事業の成果を認めていただいた。</li> </ul>
⑦	その他の事業	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における行動制限や外出自粛の影響で、体力の低下や健康状態の悪化が懸念されたことから、公園への健康遊具の設置やウォーキングを促す健康ポイント事業の実施により、市民の健康増進を図った。</li> <li>・コロナ禍において文化振興の取組みを実施したことで、精神的な安らぎの醸成のほか、ワークショップや講座を通じた市民の交流につながった。</li> <li>・感染拡大に伴い、感染者への誹謗中傷・差別的扱い等が問題となり、外出自粛等の影響で高齢者や児童への虐待増加が懸念されたことから、講演会の開催やリーフレットを配布することで、人権尊重の啓発と虐待防止を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権尊重思いやり事業は、市独自の珍しい事業である。かなり早いタイミングでこの事業を打ち出したことで、差別・偏見防止に対する市民への啓発に相当程度寄与したと考えられる。</li> </ul>